

2025年度（一社）日本家政学会

第77回大会 家政教育部会企画

「家庭生活支援の専門を広める」

家政教育部会では、2024年3月に、冊子『家庭生活支援の専門を究める』を発行し、部会員である家庭生活アドバイザーが全国で展開している実践事例や今後予定している構想などを発信しました。家政教育部会以外の学会員の皆様にもその一端を紹介しながら、家政学の研究成果を、様々な立場の方々があつ多様な生活課題を解決する一助とするための方策をともに考えたいと思います。

講師は、家庭生活アドバイザー資格をもつ部会員が行います。一緒に家政学の社会貢献を考えてみませんか。また、当日は、TPグループ（家政教育部会有志）が取り組んでいる調査研究「子育て期の家庭生活支援の実態と課題」の進捗についても報告いたします。

参加費
無料
事前申込
不要

2025年6月1日（日）

9：00 ▶ 10：30

会場 都市科学部講義棟1階103（C会場）

✓ ①実践事例紹介（質疑応答を含む、60分）

冊子情報に基づいて実践を行った成果や新たな課題などについての報告
報告者：高山さやか部会員 関東第一高等学校（非）目白大学（非）
佐藤ゆかり部会員 上越教育大学

✓ ②「子育て期の家庭生活支援のためのヒアリング調査」
中間報告（30分）

報告者：木村範子部会員 筑波大学（調査代表）

お問合せ

鈴木明子部会長：suzuaki@hiroshima-u.ac.jp